

## 平成25年度第7回（第94回）役員会議事要旨

- 日 時 平成26年3月14日（金）16時35分～16時45分
- 場 所 KKRホテル東京11階【朱鷺】
- 出席者 新原学長、武藤理事・副学長、東理事・副学長、宮崎理事・事務局長、  
中出副学長、斎藤副学長
- 陪席者 平山監事、滝上監事、伊藤附属図書館長

平成25年度第6回（第93回）議事要旨について  
学長から、平成25年度第6回議事要旨案について説明があり、案のとおり承認した。

### 審 議

1. 平成26年度年度計画（案）について  
武藤理事・副学長から、資料1に基づき説明及び学長から第59回経営協議会（平成26年3月14日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。
2. 技学に基づくグローバル・イノベーションリーダー育成に向けた大学機能強化構想について  
武藤理事・副学長から、資料2に基づき説明及び学長から第59回経営協議会（平成26年3月14日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり。

- 大学改革プランを文科省とやりとりした結果採択され、何年かに渡って事業が遂行されていく過程において、予算的な措置が継続してなされるのか、毎年の事業審査のうえで予算措置がなされるのか、お伺いしたい。
- 全体として予算措置がされることはない。しかし、本学では、自立的に資金を確保できる方策として、20拠点、20グループ、45高専約400名の組織が形成され、研究内容によって5つの分野に分け、6年間のプロジェクトが動いている。最終的には、一つ一つのグループが自立し、その中に企業群が参加することにより、自立して教育研究ができる組織体にもっていき、そこから資金が生まれ、その一部が20%から30%のオーバーヘッドとして大学の管理運営費に充当され、自立して動かしていけるようなことを目指していく必要がある。
- 自立的に資金を稼ぐことができた時に、文科省などが自立的についた分を別枠で予算を認めればよいのであるが、改革をしると言っておいて予算措置をしない、自立したらそれを召し上げるといったことが絶対ないようにお願いしたい。
- ご指摘については、今後、注意深く状況を見ていかなければいけないと考える。

### 3. 研究戦略本部の設置について

武藤理事・副学長から、資料3に基づき説明及び学長から第59回経営協議会（平成26年3月14日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

4. 就業規則等改正について

宮崎理事・事務局長から、資料4、資料4-1、資料4-2、資料4-3、資料4-4に基づき説明及び学長から第59回経営協議会（平成26年3月14日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

5. 業務達成基準指定業務の翌年度への継続（案）について

宮崎理事・事務局長から、資料5に基づき説明及び学長から第59回経営協議会（平成26年3月14日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

6. 平成26年度予算（案）について

宮崎理事・事務局長から、資料6に基づき説明及び学長から第59回経営協議会（平成26年3月14日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

7. 平成24年度目的積立金の使用計画（案）について

宮崎理事・事務局長から、資料7に基づき説明及び学長から第59回経営協議会（平成26年3月14日開催）で了承を受けた旨の報告があり、審議の結果これを承認した。

以 上